

全国学力・学習状況調査の概要	
学 力 面	学 習 状 況 面
<成果> ○国語科では、「資料を基に自分の考えをまとめて書く」問題で、正答率（90％）が全国平均（56.3％）を大きく上回っている。 ○算数科では、特に「図形」の正答率が高く、「図形の角の大きさについてわかることを選ぶ」問題では、正答率100％と全国平均を大きく上回っている。 ○理科では、ほとんどの領域において全国平均を上回ることができている。 ○無回答率が国語0.7％算数0.6％理科0％と、時間配分に気を付け、粘り強く取り組んでいる。 <課題> ▲国語科では、読解力や情報を整理して表現する力に課題が見られる。 ▲算数科では、日常生活の応用問題に引き続き課題が見られる。これは、習ったことを現実の場面で活用する力がまだ不十分であることを示している。	<成果> ○「将来の夢や目標」「自分にはよいところがある」に肯定的な回答をした児童の割合が高く、自己肯定感が高まってきている。 ○授業でのICT機器の活用頻度が全国・県よりも高い。 ○「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」に肯定的な回答をした児童の割合が全国・県平均を大きく上回っており、自律的な学習姿勢が育っていると考えられる。 <課題> ▲「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」に「当てはまる」と回答した児童の割合が全国・県平均を下回っており、学習内容と実社会との関連性を実感しにくい傾向が見られる。

岡山県学力・学習状況調査の概要	
学 力 面	学 習 状 況 面
<成果> ○国語科の漢字の読みでは、どの学年も正答率が高く、定着している。 ○国語科の聞き取り問題や主語・述語といった文法問題の正答率が高い。 ○算数科では、数直線図の読み方や分数の基本的な問題、図形において高い正答率が見られる。 <課題> ▲国語科では、文章を読み、書かれている内容の順序を理解することや、問題文の意図を正確に読み取ることがやや苦手である。 ▲算数科では、数の構成や倍の概念、時刻など、基礎的な概念理解に課題が見られる。	<成果> ○宿題以外の自主的な学習に週2回以上取り組んでいる児童の割合が、県よりも高い。 ○授業の振り返りとして、学習内容や学習方法について、自分の考えを書いたり、伝え合ったりしている児童の割合が、県よりも高い。 ○地域に関する質問に対して、肯定的に回答している児童の割合が県よりも高い。 <課題> ▲授業で、資料や文章、話の組立てなどを工夫して自分の考えを発表することが、やや苦手である。 ▲平日の1日当たりの読書時間が10分未満と回答した児童の割合が多く、読書量が不足している。

改 善 策	
学 校 で の 取 組	
① 校内研究を柱とした授業改善 ・ 学びを委ねる授業による・・・学び方を学ぶ ・主体的に取り組める課題設定の工夫（話し合う必然性） ② 基礎学力向上のための取組 ・ 朝の学習（毎朝） ・質の高い自主学習の奨励 ・メタ認知で定着を促す学習の振り返り ・読書量の増加 ③ 児童の表現力を高めるための取組 ・ 良質なインプットとアウトプット（受け取る側のリアクション、質問をする、振り返りの質の向上） ・ 読書による語彙力・表現力・集中力の向上 ➡以上2点を軸に、1年生からしっかりと取組を継続して、児童の経験を積み重ねていく。	
あい・かもがた学園での取組	
○カリキュラム「あい・かもがた学」に沿って、中学校区で一貫した指導を行い、基礎学力の定着、学び合い活動の充実を図り、自立した学習者を育てる。 ○「ほめ言葉のシャワー」の取組を通して、互いに認め合う温かい人間関係作りに努めるとともに自己肯定感を高めることができるようにする。 ○各校の授業参観や情報交換の機会を設け、園・小・中学校のスムーズな接続を図る。	
家庭・地域へのお願い	
○学校では自主学習を推奨しています。子どもが自主学習に意欲的に取り組めるよう、声掛けをお願いします	

す。

- 「メディアコントロール週間」の期間中を中心に、「早寝・早起き・朝ごはん」などの規則正しい生活習慣や学習習慣を身に付けることができるよう、サポートや励ましをお願いします。
- 学習や生活等、様々な場面で子どもたちのよさや頑張りをほめてください。